

# 手紙の文化の存続

J P 労組 寺嶋智子



## 手紙の文化の存続とは？

- A. 様々な情報伝達的手段がある中で、アナログ的手段である手紙。アナログ的な手法だから使わないのではなく、**手紙ならではの特徴を再認識して活用していく**ことです。

明治4年から続く郵便事業は、日本の高い識字率を背景に、「通信インフラ」として発達する中で「手紙文化」を育みました。

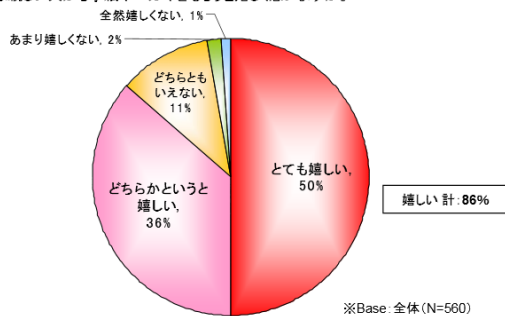
しかし、メールといった手紙に代わる非対面の伝達手段が発展してきたことで、「郵便物」＝「手紙」はどんどん減ってきています。直筆のあたたかさや、嬉しい気持ちを運んできた文化が今、失われようとしているのです。

## 手紙が担っている役割って？

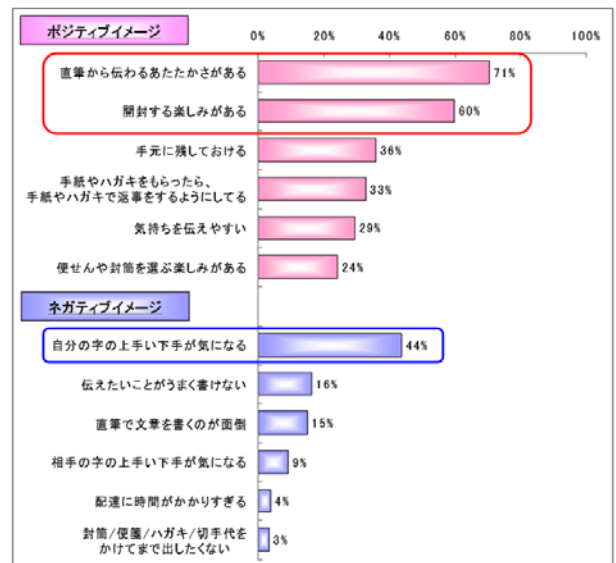
### ① 「機会」と「あたたかさ」の提供

マーケティングリサーチシステム インサーチが実施した「『手紙』についてのアンケート」では、手紙やハガキには「直筆から伝わるあたたかさがある」、「開封する楽しみがある」といったポジティブなイメージを抱いており、**手紙やハガキを「もらう」ことについては86%が嬉しいと感じている**ことがわかっています。また、全体の77%が、「気持ちを伝える」手段として手紙やハガキを必要だと感じているのです。

Q: あなたは親しい人から手紙やハガキをもらって嬉しく思いますか。



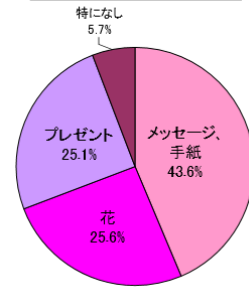
Q: 手紙やハガキのイメージについて、あなたのお気持ちに近いものすべてをお選びください。(いくつでも)



東急ハンズによる「母の日の思い出に関する調査」では、**花やプレゼントよりも手紙がもらってうれしかったものにあげられています。**

また、瀬戸川氏の『おもてなし経営企業』に見られる強さと共通項によると、いい会社とおもてなし経営企業で行われていることに「一人ひとりの誕生日に社長が直筆の手紙を送る」が挙げられています。

問:もらって嬉しかった  
プレゼントは何ですか?



出典:株式会社東急ハンズ・株式会社アップアローズ (2009) 「母の日の思い出に関する調査を実施 ~手紙が嬉しい。子供がしてくれたことが思い出に」, 東急ハンズ ニュースリリース2009年4月28日, <http://www.tokyu-hands.co.jp/news/news090428.pdf>.

引用:瀬戸川礼子, 2013, 『おもてなし経営企業』に見られる強さと共通項, 『開発工学』日本開発工学会, 33(1):23-28.

## ②メールとは異なる役割がある

大江氏の「多様化するメディアの中での手紙の意義」によると、「手軽」なイメージのメールと異なり、手紙は「繰り返し読む」「フォーマル」「気持ちが伝わる」といったイメージがあることがわかっています。手紙はメールと競合関係ではなく、それぞれ別の役割を担って生活の中に根付いているのです。

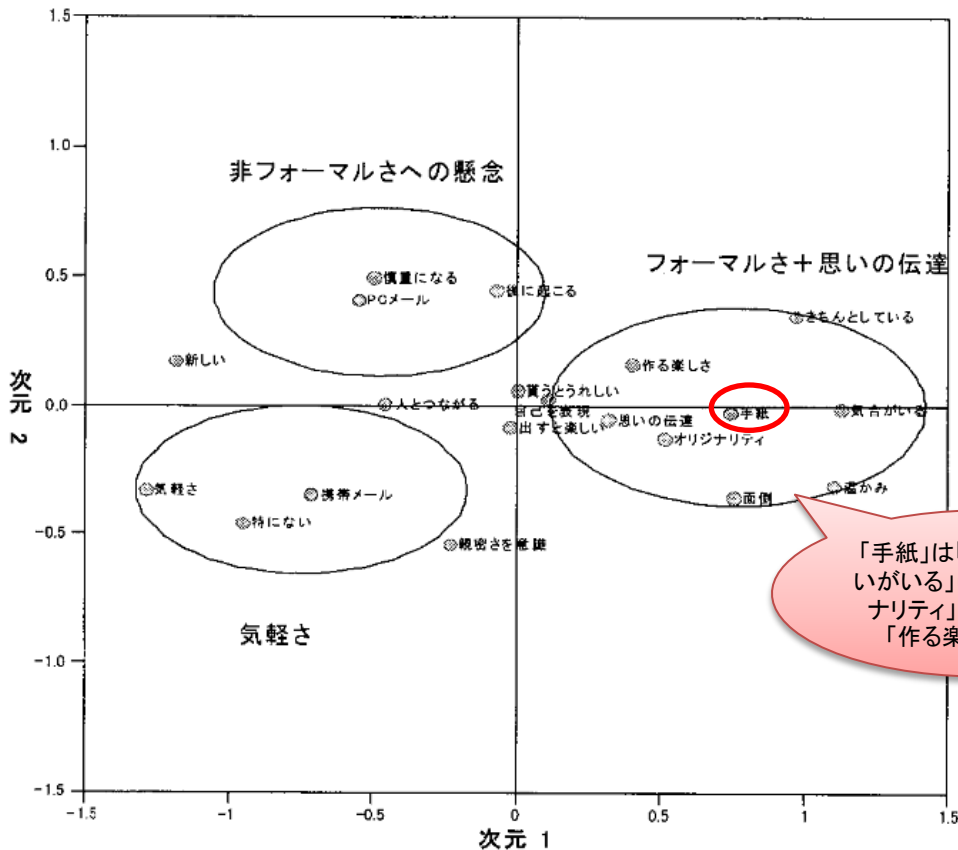


図:各メディアの印象比較

出典:大江宏子 (2007) 「多様化するメディアの中での手紙の意義 : 携帯メールとの利用比較調査を中心に」, 情報文化学会誌, 14(1), 60-66.

たしかに、年賀状では懐かしい人と交流をするきっかけになったり、友達からもらう手紙はメールでもらうよりも相手の気持ちをもっと感じられて嬉しいです！

## もっと手紙を出して、 これからも文化として継承していこう！

メールなど、より効率的な情報の伝達手段がある中で、**非効率的だと思われる手紙をもらうと嬉しいという人が多い**という調査結果があります。特にイベント等において言えることで、より気持ちを伝えたいという場面で手紙という手段は重要な役割を果たしているのです。それは手紙自体、単に「文字で内容を伝える」という以外に、**どのような紙・ペンを使ったのか、どのような字で書いているかなどから、様々な情報が伝わってくる**からかもしれません。

年賀状、暑中見舞い、そういった手紙を出して、お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えてみませんか？

引っ越しで離れてしまった友人や両親に、手紙を出してみませんか？近くだと言えなかったことが言えるかもしれません。

お気に入りの文房具を使って、綺麗な便箋で手紙を書いてみてください。自分ならではの表現で相手に気持ちを伝えてみましょう。

自身が手紙を書き始めて、返信を待つと、手紙から得られる嬉しさを実感できると思います。また、自らが書き始めることによって、文字だけでは伝わらないことを、便箋や字体などを変えることを通して、手紙ならではの表現の発見があるはずです。

